



イベント 終了しました

がんと医薬とノーベル賞

キーワード	日比谷カレッジ,ノーベル賞,医薬品
内容	<p>抗がん剤の進歩により、「不治の病」というがんのイメージは近年ずいぶん変わりつつあります。しかしその反面、超高額な医療費といった、思わぬ問題も出てきました。一方、2015年のノーベル賞は、寄生虫の駆除薬を開発した大村智博士に与えられました。</p> <p>なぜ抗がん剤の開発者ではなく、大村博士が受賞を果たしたのか——。現代の医薬にまつわる諸問題を、元医薬研究者の立場から読み解きます。</p>
日にち	2017年11月27日（月） 19:00から20:30
日にち説明	18:30開場
場所	地下一階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
関連ファイル	171127 がんと医薬とノーベル賞ちらし 千代田区立日比谷図書文化館
発信者	千代田区立日比谷図書文化館

定員	200名（事前申込順）
参加費用	1,000円

講師・出演者	佐藤健太郎
プロフィール	<p>■佐藤 健太郎（さとう けんたろう）サイエンスライター。</p> <p>茨城県出身。東京理科大学、東京工業大学大学院（修士）卒業の後、国内の製薬企業で医薬品研究に携わる。そのかたわら、ウェブサイト「有機化学美術館」を立ち上げ、化学に関する情報を発信してきた。2007年に退職、独立してサイエンスライターとなる。2009年より3年間、東京大学理学系研究科化学専攻にて特任助教（広報担当）に就任、東大の化学系の研究内容発信に携わった。現在は再びフリーの立場で、化学・医薬関連の記事・書籍執筆を行っている。2010年科学ジャーナリスト賞、2011年第1回化学コミュニケーション賞（個人）を受賞。著書に「医薬品クライシス」「炭素文明論」（いずれも新潮社）、「医薬品とノーベル賞—がん治療薬は受賞できるのか」（KADOKAWA）、「ふしぎな国道」「世界史を変えた薬」（いずれも講談社）など。</p>

主催	千代田区立日比谷図書文化館
----	---------------

問い合わせ先	千代田区立日比谷図書文化館（03-3502-3340）
--------	-----------------------------

申込期間	2017年09月26日 10:00 から2017年11月27日 19:00
------	---------------------------------------

申込方法	電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）、来館（1階受付）いずれかにて、①講座名(または講演会名)、②お名前（よみがな）、③電話番号をご連絡ください。
------	--

関連リンク	講師：佐藤健太郎氏ホームページ「有機化学美術館・分館」
-------	---

カレンダー表示 <input type="checkbox"/> イベント開催日 <input type="checkbox"/> 休館日	2017年 11月						
	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25

26 27 28 29 30

発信日

2017.09.26

 印刷

 リストに追加

[ツイート](#)